



CD-RW RECORDER

CDR-07

取扱説明書

ご注意

- ① 本機は、「CD-DA」フォーマット及び「MP3」フォーマットの再生に対応しています。
パソコン等でCDを作成された場合、上記以外のデータには対応しておりませんのでご注意ください。
また、同じCDの中に「CD-DA」、「MP3」のデータが両方入っている場合、「CD-DA」のデータが優先され、「MP3」のデータは再生することができませんので、ご注意ください。
※MP3の再生においてはサポートされない機能がありますのでご注意ください。
詳しくはP.21を御覧下さい。
- ② CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては本機の動作保証を致しかねます。標準規格CDの再生時に支障がなく、上記の特殊ディスク再生時のみ支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問合せ下さい。

ベスタクス株式会社

〒154-0023

東京都世田谷区若林 1-18-6

TEL 03-3412-7011 FAX 03-3412-7013

WEB www.vestax.jp

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度はVestax CDR-07 プロフェッショナルシングルCDレコーダー/プレーヤーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

ごあいさつ	2
本機の特長	2
安全上の注意	3
1. 各部の名称と機能	5
2. プレーヤーの基本操作	10
3. プレーヤーの応用操作	13
4. レコーダーの基本操作	22
4-1 録音時の制限事項	22
4-2 録音ソースの選択	22
4-3 入力信号のモニター	22
4-4 アナログ入力信号レベルの調節	22
4-5 録音操作	23
4-6 フットペダルによる録音/録音ポーズの切り替え	23
5. 録音中のトラック番号の更新	24
5-1 オートトラック録音とは	24
5-2 オートインクリメント	24
5-3 オートトラックレベル	24
6. CD-R/CD-RW ディスクの各種操作	25
6-1. ファイナライズ	25
6-2. アンファイナライズ	26
6-3. CD-RWディスクのリフレッシュ	26
6-4. CD-RWディスクの消去	26
6-5. トラックの消去	27
7. プリセットメニューの設定方法	28
8. バックアップメモリー	29
9. 仕様	29
10. 故障かな?と思ったら	30
11. エラーメッセージ	30
12. 保証・アフターサービスについて	31

本機の特長

- ・DJ用CDプレーヤー機能に加え、レコーディング機能を備えたCD-RW/CD-Rレコーダーです。
- ・LINE/PHONO系入力端子とMIC/INST系入力端子の2系統の入力を装備しており、これらの入力信号を簡易アナログミキシング機能を使用して同時録音が可能です。伴奏を録音しつつ、ボーカルや楽器を演奏しての録音が可能です。
- ・フットペダルにより録音スタートと録音ポーズの切り換えや、録音トラック番号の更新が可能です。これにより、演奏中にも操作が可能です。
- ・手動によるトラック番号の更新が出来るほか、オートトラックインクリメント機能により任意の時間や入力信号レベルの検出によるトラック番号の更新が可能です。(1トラックの録音時間は最小4秒以上で、最大99トラックまで録音可能、4秒以下の時間は録音不可能です)
- ・入力信号のモニター機能によりLINE OUTPUTS、DIGITAL OUTPUTSおよびHEADPHONE出力端子から入力信号のモニターが可能です。
- ・CD-RWディスクを使用する場合、ファイナライズ済みのディスクでもアンファイナライズすることにより追加録音が可能です。
- ・CD-R/CD-RWについてファイナライズ処理を行なう前でも本機での再生は可能です。
- ・CD-RWディスクを使用する場合、CD-RWに録音された全てのトラックを消去する機能と、指定した任意のトラックから最後のトラックまでを消去する機能を備えています。
- ・厳選された電子部品と独自のフィルター回路を通すことにより、CD特有のデジタル音をアナログ感ある音質で再生することが可能です。これにより、違和感なくDJプレイの際にアナログターンテーブルの曲とCDをミックスすることが可能です。
- ・フランジャー、ディレイ、フィルターの3種類のエフェクトを搭載しており、オートもしくはマニュアル設定したBPMに同期させることができます(同時に使用できるのは1系統までです)。
- ・通常のCDデータ以外にMP3ファイルの再生にも対応しています。CD-R/RWに記録したMP3ファイルを再生することが可能です。(但し、MP3再生はCUEポイントやループ再生などの機能に制限があります。)
- ・CD全体の時間数や曲の長さから個々の曲を判別し、最大100曲の再生時設定を本体内に記憶させるトラックメモリー機能が搭載されています。CUEポイント、LOOPポイント、BPM値などをあらかじめ設定し、DJプレイ時に呼び出して使用することが可能です。
- ・JOGダイヤルには、サーチ、スクラッチ操作に便利なスイッチ付きJOGダイヤルを採用しています。これにより、アナログターンテーブルと同様に頭出し等の操作が可能となります。また、TASCAMのTT-M1と接続することにより、JOGダイヤルの代わりに当社ターンテーブルPDX-2000seriesを使ってキューイング操作することが可能です。
- ・スイッチングレギュレータータイプの電源ユニットを採用しているためAC100VからAC230V電源電圧に対応出来るので世界中どこでも使用できます。(海外仕様のプラグは付属していません)

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグを
コンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源指を挟まれないよう注意抜け

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさめないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にはこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間聴けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- この機器には、付属のACアダプターおよび電源コードセットをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



- 付属のACアダプターおよび電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

ご使用上のご注意

電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きな機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスをもつ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れをふき取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活材・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製は使用しないで下さい。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また修理をお断りする場合があります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの店または、当社商品の取り扱い店にご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。
- 輸送や引越しの際は、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包して下さい。

コンパクトディスクについて

七色に輝く美しい面が表面で、レーベル面が裏面です。従来のレコードプレイヤーと異なり、コンパクトディスクプレイヤーはレーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読みとります。従って、従来のレコードのように使っているうちに性能が劣化するようなことは全くありません。

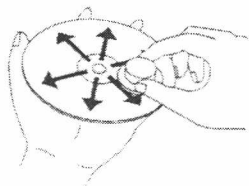
■ディスクの表面にキズを付けないように大切に扱ってください。

■ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

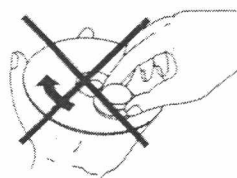
- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある場所

■ディスクの表面はいつもきれいに

コンパクトディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずコンパクトディスク専用のクリーナーを使用して図のように拭いてください。



- 放射状方向にふいてください。



- 円周方向にはふかないでください。

※従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、コンパクトディスク表面に悪影響をあたえますので使用しないでください。

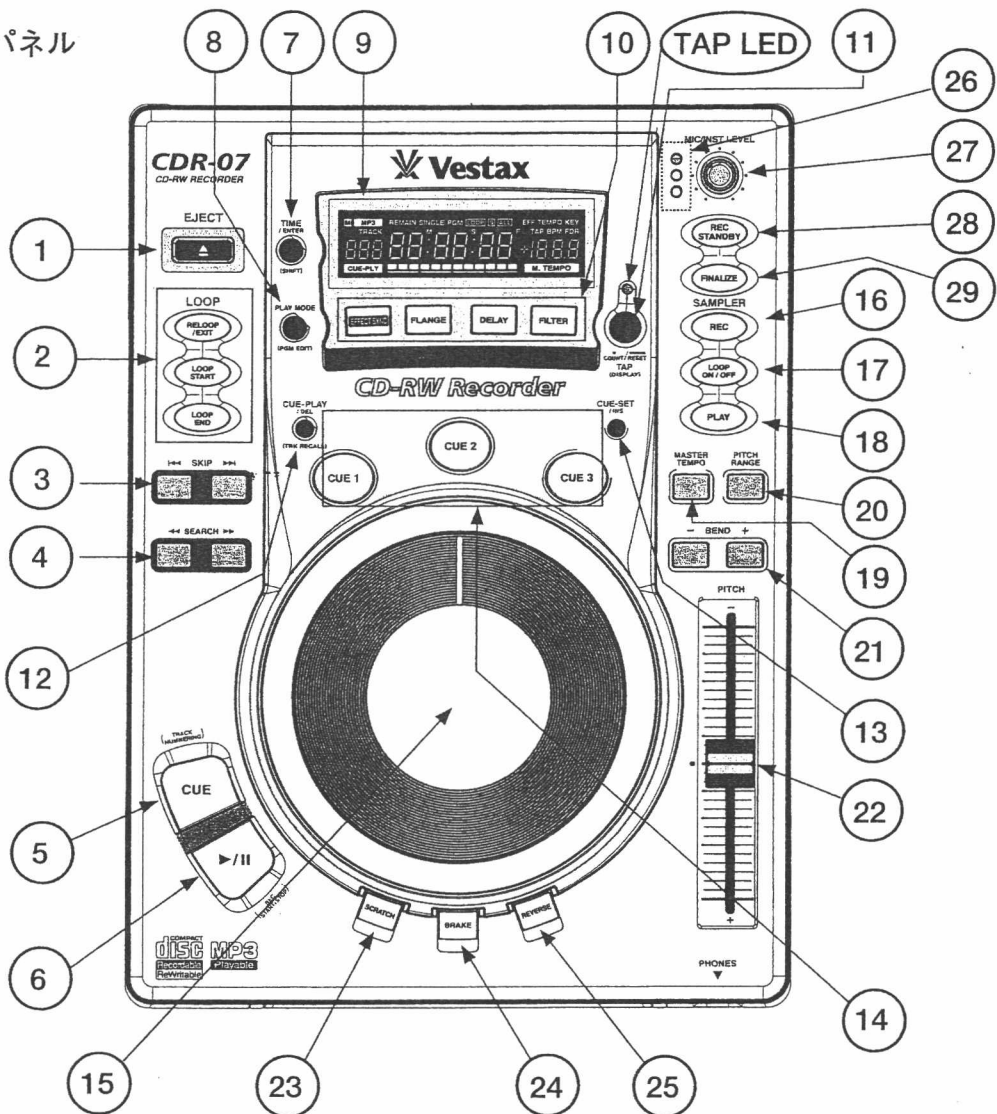
■ディスクはディスク用のケースに入れて正しく保管しましょう。

結露現象について

冬季など本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。露がついたままではレーザー光線による信号読みとりができなくなり、再生できません。結露の程度にもよりますが、1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消えて再生可能になります。また、夏期にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも結露が生じる場合があります。その場合は本機の設置場所を変えて下さい。

1. 各部の名称と機能

1-1. トップパネル



1. EJECT

ディスクを取り出します。

ご注意

ダイレクトモード(プリセット、P.28)がオフのとき、ディスク再生中はこのキーを押してもディスクをイジェクトしません。

2. RELOOP/EXIT, LOOP START, LOOP END

ループポイントの設定、消去、ループ再生のオン/オフ、ループ再生を行います。ボタンを押すと点灯します。(P.11)

3. SKIP

トラックを選択します。

MP3ファイル再生モード時は、SHIFTキーとの組み合わせでディレクトリを選択します。

4. SEARCH

サーチを行います。

ご注意

MP3ファイル再生時にはサーチ機能は働きません。

5. CUE [TRACK NUMBERING]

点灯時に押すと、キューポイントに戻り待機します。

キューポイントで待機しているときにこのキーを押し続けるとキューポイントより再生します。キーを離すとキューポイントに戻ります。(P.10)

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとキューポイントの設定方法を切り替えます。(P.10)

※ 録音時には、TRACKナンバリングキーとして機能します。

6. PLAY / PAUSE [REC START/STOP]

再生、一時停止を行います。再生中はキーが点灯し、一時停止中はキーが点滅します。

録音時には、録音スタート/ストップボタンとして動作します。録音中は点灯し、停止中は点滅します。

7. TIME / ENTER / SHIFT

タイムモードを切り替えます（トラックリメイン、トラック経過時間、およびトータルリメイン）。

トラックリメインモード時はLCD内のREMAINインジケータが点灯します。トータルリメイン時は、トラック表示部に総トラック数表示と総残り時間表示をします。ただし、トラックの終わり5秒間は現在のトラック番号が点滅表示し、トラックの始めの5秒間は現在のトラックが点灯表示します。

また、他のキーとの組み合わせで以下の機能になります。

SHIFT + PLAY MODE :プログラムエディット
SHIFT + CUE-PLAY :トラックメモリーリコール
SHIFT + CUE-SET :トラックメモリー
SHIFT + TAP :パラメーター表示切り替え
SHIFT + ジョグ :プリセット
SHIFT + LOOP END :ループ終了ポイント編集
SHIFT + CUE :CUE機能切り替え

8. PLAY MODE / PGM EDIT

再生モードを選択します（全曲、1曲、プログラム、全曲リピート、1曲リピート、プログラムリピート）。

全曲再生モード:表示は特になし

1曲再生モード:LCD内の「SINGLE」インジケータが点灯します。

プログラム再生モード:LCD内の「PGM」インジケータが点灯します。

全曲リピート再生モード:LCD内の「ALL」と「LOOP」インジケータが点灯します。

1曲リピート再生モード:LCD内の「SINGLE」、「S」、「LOOP」インジケータが点灯します。

プログラムリピート再生モード:LCD内の「PGM」と「LOOP」インジケータが点灯します。

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとプログラムエディットモードになります。(P.19)

9. LCD

再生時間など、本機の様々な情報を表示します。
(デフォルト表示は、時間表示REMAIN、TEMPO)

10. EFFECT SYNC/ FLANGE / FILTER / DELAY

EFFECT SYNC:エフェクトタイムをBPMに同期させます。(P.14)

FLANGE:フランジャーエフェクトをオン/オフします。(P.14)

FILTER:フィルターエフェクトをオン/オフします。(P.14)

DELAY:ディレイエフェクトをオン/オフします。(P.14)

11. TAP / DISPLAY

このキーを数回押すことにより、BPMを計測することができます。このキーを押すと、TAP LEDがカウントに合わせて点滅しパラメーター表示部が一時的にBPM表示に切り替わります。

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとパラメーター表示部のモードを切り替えることができます。TEMPO -> KEY -> TAP -> BPM -> (FDR) ->

12. CUE-PLAY / TRK RECALL / DEL

CUE-PLAY機能をオン/オフします。

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーをリコールするモードになります。プログラムエディット時は、現在表示しているトラックをリストから削除します。(P.10)

13. CUE-SET / TRK MEMO / INS

CUE-SETキーを押した後、CUE 1-3キーを押すとCUE 1-3ポイントを登録します。

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーモードになります。

プログラムエディット時は、プログラムの追加をします。(P.19)

14. CUE 1-3

CUE-SETキーと合わせてCUE 1-3ポイントを登録します。(P.10) CUE 1-3ポイントが登録されているとき、CUE-PLAY機能がオフの場合は、キーを押すと登録されているポイントに戻り待機します。またCUE-PLAY機能がオンのときは、キーを押す度に登録されているポイントからスタートします。

15. ジョグダイアル

ジョグダイアルには以下のような機能があります。

- サーチ
- ピッチベンド
- スクラッチ
- ブレーキタイム設定
- キーコントロール
- プリセット
- エフェクトパラメーター
- サンプラーテンポ/レベル
- プログラムエディット
- トラックメモリー番号選択

16. REC

このキーを1度押すとサンプリング待機状態（点滅）になり、次に押すとサンプリングを開始（点灯）します。再度押すとサンプリングを停止（消灯）します。(P.16) サンプリング時間は最大で8秒間です。

17. LOOP ON/OFF

サンプラーのループ再生をオン(点灯)/オフします。(P.16)

18. PLAYキー

このキーを押している間サンプラーが再生します。(P.16)
キーを離すとサンプラーは停止します。
サンプラーループ再生中にこのキーを押すと、サンプリングデータの頭から再生を始めます。

19. MASTER TEMPO / KEY

マスターテンポ機能をオン/オフします。(P.13)
マスターテンポ機能がオフのとき、このキーを押しながらジョグダイヤルを回すとキーコントロールを行います。(P.13)

20. PITCH RANGE

ピッチレンジを設定します(±6, 10, 50, 100, 0%)。(P.12)

21. BEND +/-

ピッチベンドを行います。(P.13)

22. PITCHフェーダー

再生テンポを調整します。(P.12)

23. SCRATCH

スクラッチ機能をオン(点灯)/オフします。スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイヤルでスクラッチを行うことができます。(P.14)

24. BRAKE

ブレーキ機能をオン(点灯)/オフします。またこのキーを押しながらジョグダイヤルを回すとブレーキタイムを設定します。(P.14)

25. REVERSE

リバース再生をオン(点灯)/オフします。(P.16)

26. インプットレベルインジケータ

入力信号のレベルを最大録音レベル(デジタルフルスケールレベル=0 dBFS)から赤(-3 dBFS)、橙(-16 dBFS)、黄(-40 dBFS)の3つのLED点灯で表示します。

27. インプットレベルボリューム

MIC/INST ジャックに入力された信号レベルを調整するためのボリュームです。

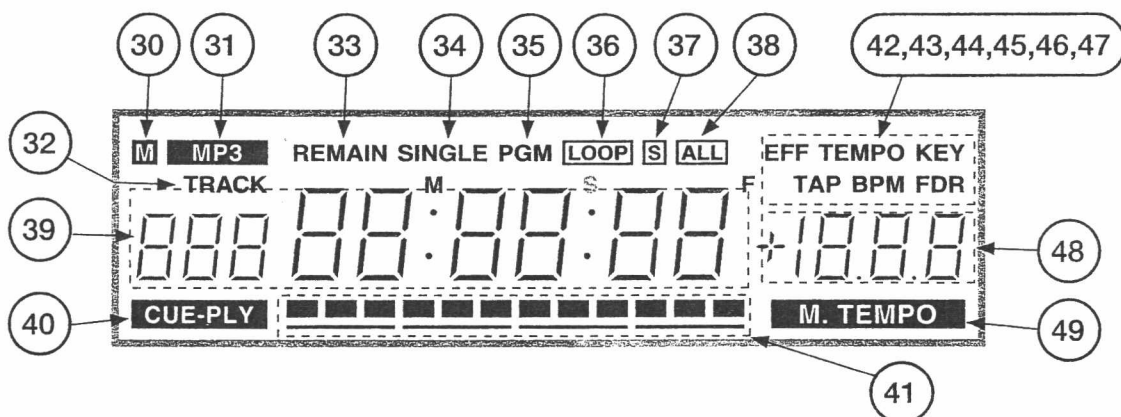
28. REC STANDBY

録音をスタンバイするためのボタンです。スタンバイ状態でもう一度押すとスタンバイ状態が解除されます。

29. FiNALiZE

CD-R, CD-RWに録音後、ディスクをファイナライズするためのボタンです。

1-2. LCD



30. M

メモリー内に現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、このインジケータが点灯します。

31. MP3

MP3ファイルが記録されたディスクが挿入されたときに点灯します。

32. TRACK

トラック番号表示部の表示

33. REMAIN (ディフォルト表示)

時間表時モードがリメインモード時に点灯します。

34. SINGLE

再生モードが1曲再生モード時に点灯します。

35. PGM

再生モードがプログラム再生モード時に点灯します。

36. LOOP

リピート再生時に点灯します。

37. S

1曲リピート再生時に点灯します。

38. ALL

全曲リピート再生時に点灯します。

39. 時間表示部

トラック番号、時間表示などをします。

40. CUE-PLAY

CUE-PLAY機能がオンのとき点灯します。

41. タイムアドレスバー

トラック内における現在のおおよその再生位置を表示します。

42. EFF

エフェクトがオンのとき、パラメーター表示部にエフェクトのパラメーターを表示しているときに点灯します。

43. TEMPO (デフォルト表示)

パラメーター表示部がテンポ値を表示しているときに点灯します。

44. KEY

パラメーター表示部がキー値を表示しているときや、キーが0%以外に設定されているときに点灯します。

45. TAP

TAPキーで入力したBPMを表示しているときに点灯します。

46. BPM

自動計測したBPMを表示しているときに点灯します。

47. FDR

MP3ファイルが記録されたディスクを挿入時、フォルダ番号を表示しているときに点灯します。

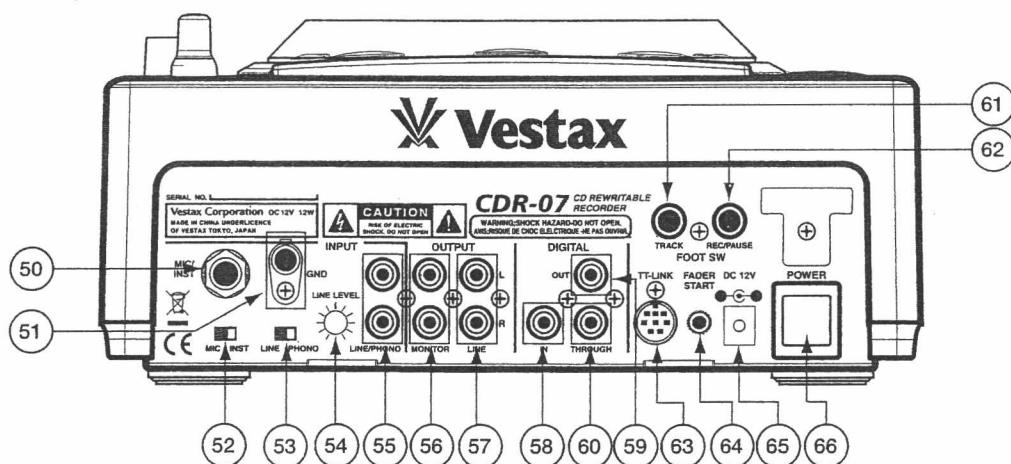
48. パラメーター表示部

様々なパラメーターを表示します。

49. M.TEMPO

マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

1-3. リアパネル



50. MIC/INST INPUT JACK

マイクロホンやギター等、楽器の音を録音する際の入力端子です。

51. GND TERMINAL

LINE/PHONO端子にターンテーブルを接続した際に、アース線を接続してください。

52. MIC/INST LEVEL SELECT SWITCH

MIC/INST INPUT JACK(50)に接続する機器に応じて、基本入力レベルと入力インピーダンスを切り替えるための

スイッチです。マイク（ダイナミック型）を使用する場合はMIC側に、ギター、ベース等を接続する場合はINST側にスイッチを切り替えてください。

53. LINE/PHONO LEVEL SELECT SWITCH

LINE/PHONO INPUT JACK(55)に接続する機器に応じて、基本入力レベルおよびPHONOイコライザー挿入を切り替えるためのスイッチです。CDプレイヤー等を接続する場合はLINE側に切り替えてください。ターンテーブルを接続する場合はPHONO側に切り替えてください。

54.LINE LEVEL ADJUST VOLUME

LINE/PHONO INPUT JACK(55)に接続した機器の録音レベルを調整するボリュームです。

55.LINE/PHONO INPUT JACK

CDプレイヤー、ターンテーブル等の音を録音する際の接続端子です。

56.MONITOR OUTPUT JACK

MIC/INST INPUT JACK(50),LINE/PHONO INPUT JACK(55)より入力されるソースをモニターするための出力端子です。

57.LINE OUTPUT JACK

メインのアナログ音声出力端子です。再生時はCDの再生音を出力します。録音・録音ポーズ時には、MIC/INST INPUT JACK(50),LINE/PHONO INPUT JACK(55)より入力される音をモニター出力します。(録音用ディスクが挿入されていない状態、または再生専用のCDが挿入されている状態で、CD RECキーを押すとLCDに” Monitor” と表示され入力信号音をモニター出力します)

58.DIGITAL IN JACK

デジタルの入力端子(COAXIAL)です。SPDIF方式に対応しています。

59.DIGITAL OUT JACK

デジタルの出力端子(COAXIAL)です。SPDIF方式に対応しています。録音・録音待機時にはMIC/INST INPUT JACK(50),LINE/PHONO INPUT JACK(55)より入力される音を出力します。

60.DIGITAL THROUGH JACK

デジタルのモニター出力用端子(COAXIAL)です。MIC/INST INPUT JACK(50),LINE/PHONO INPUT JACK(55)より入力されるソースをモニターするための出力端子です。

61.FOOT SW TRACK

フットスイッチを接続することにより録音中にトラックマークを記録することが出来ます。フットスイッチを踏んだ際にトラックマーカが記録されます。

62.FOOT SW REC/PAUSE

フットスイッチを接続することにより録音スタートと録音ポーズを切り替えることができます。フットスイッチを踏むごとに録音スタートと録音ポーズに状態が切り替わります。

63.TT-LINK

TASCAMのスクラッチコントローラー、TT-M1と接続します。

64.FADER START

フェーダースタートに対応した外部ミキサーなどを使って本機をフェーダースタートする際に使用します。この場合、フェーダースタートを行うミキサーにオーディオ信号も接続してください。
(TIP: スタート、GND: バックキュー)

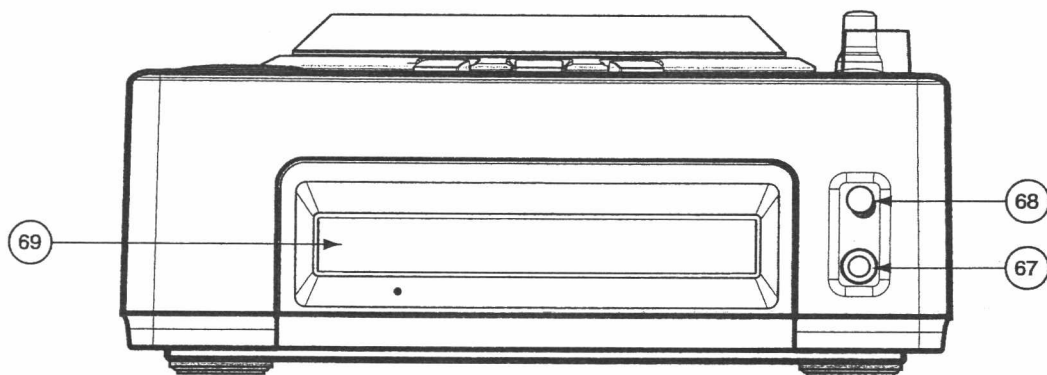
65.POWER JACK

付属の電源アダプターSDC-12を接続してください。

66.POWER SWITCH

本機の電源をオン/オフします。

1-4. フロントパネル



67.HEADPHONE JACK

ヘッドフォン用のジャックです。φ6.3ミリの標準ジャックに対応しています。

68.HEADPHONE LEVEL VOLUME

ヘッドフォンの音量を調整するボリュームです。

69.DISC TRAY

再生、または録音するディスクをセットするトレイです。

2. 基本操作

2-1. CUE

本機は再生を開始したいポイントをキューポイントとして登録することができます。キューポイントが登録

されていると、CUEキーを押すことによりあらかじめ登録されていたポイントにロケートすることができます。

キューポイントの登録

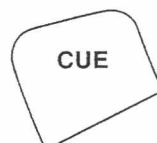
キューポイントの登録方法は右記の2通りがあります。
(SHIFTキーを押しながらCUEキーを押すことによりキューポイントの登録方法を切り替えることができます)

CUE

一時停止中にCUEキーを押したポイントをキューポイントとして登録します。

PLAY

最後に再生を開始したポイントをキューポイントとして登録します。



キューポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUEキーを押し続けると、キューポイントから再生を開始します。CUEキーを離

すとキューポイントに戻り待機します。
CUEキーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

2-2. CUE 1-3

CUE 1-3ポイントの登録

1. 登録したいポイントをサーチします。
2. CUE-SETキーを押します。パラメーター表示部にSETが表示されます。
3. CUE 1-3のどれかのキーを押します。



キューポイントが登録されると、対応するキーが点灯します。

一時停止中、CUE-PLAY機能がオンのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、自動的に再生を開始します。
一時停止中、CUE-PLAY機能がオフのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、対応するキー（CUE 1-3）が3回点滅し、その後点灯します。

ご注意

CUE 1-3を登録した直後3秒間は、別のCUE 1-3ポイントを登録することはできません。

CUE 1-3ポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUE 1-3キーを押し続けると、対応するキューポイントから再生を開始します。キーを離すとキューポイントに戻り待機します。

CUE 1-3キーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

2-3. CUE-PLAY

CUE 1-3キーを使ってCUE-PLAYスタートを行うことができます。CUE-PLAY機能がオンのとき（LCD内のCUE-PLAYインジケータが点灯時）、CUE 1-3キーを押すことによりCUE-PLAYスタートを行うことができます。

ご注意

CUE-PLAY機能がオフのとき（LCD内のCUE-PLAYインジケータが消灯時）CUE 1-3、キーを押すと、対応するキューポイントにロケートし、待機します。



CUE-PLY



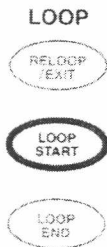
2-4. A-Bループ再生

ループポイントの設定

ご注意

- ループポイントを登録する場合は現在ループ再生中でないことを確認してください。ループ再生中はループポイントの設定はできません。
- ループポイントは常に上書き可能です。
- ループポイントは同一トラック内で登録してください。トラックをまたぐループ再生には対応していません。
- LOOP ENDポイントはLOOP STARTポイントより後ろにしか設定できません。
- ループのリバース再生は出来ません。

1. 再生中または一時停止中にLOOP STARTキーを押します。このとき、LOOP STARTキーが点灯し、LOOP ENDキーが点滅します。

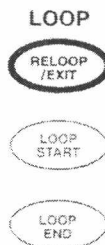


2. 再生中または一時停止中にLOOP ENDキーを押します。このとき、LOOP STARTキー、LOOP ENDキーが点灯し、RELOOP/EXITキーが点滅します。再生中にループポイントを設定した場合、シームレスにループ再生を開始します。一時停止中にループポイントを設定した場合はループ開始点で待機します。



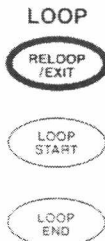
ループ再生の解除

ループ再生中にRELOOP/EXITキーを押すとLOOPキーが点灯しループ再生を解除し、そのまま再生を続けます。このときループポイントは消去されません。また、CUEキーやCUE 1-3キーなどでループ区間外にロケートされた場合、RELOOPキーが点灯しループ再生を解除します。このときもループポイントは消去されません。



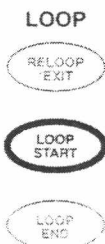
リループ再生

ループポイントが登録済みでループ再生が解除されているとき、RELOOPキーを押すことにより、再度ループ再生をシームレスに開始することができます。



LOOP STARTポイントからの再生

ループ再生中にLOOP STARTキーを押すと、ループ開始ポイントから再生を始めます。



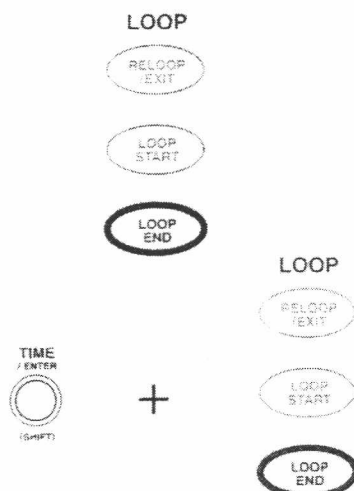
ループ終了ポイントの編集

ループ再生中にLOOP ENDキーを押すとループ終了ポイントを変更します。

SHIFTキーを押しながらLOOP ENDキーを押すとループ終了ポイントをジョグダイヤルで変更できます。LOOP ENDキーを押すと、LOOP ENDポイントを確認し、LOOP ENDポイント編集モードを抜けます。

ご注意

ループ終了ポイントの編集は、現在のループ終了ポイントより後ろには移動できません。



2-5. 再生ピッチの調整

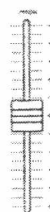
ピッチレンジ

本機は±6、10、50、100%（および0%）のピッチコントロール機能を搭載しています。PITCH RANGEキーを押すことにより、6→10→50→100→0→6の順でピッチレンジを変更することができます。パラメーター表示部に設定されたピッチレンジが一時的に表示されます。0%を選択した場合、ピッチレンジ表示は行わず、パラメーター表示部のテンゴ表示がー ー ー になります。



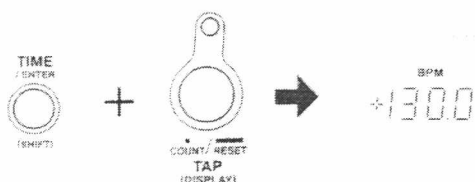
ピッチフェーダー

ピッチフェーダーを使ってピッチコントロールを行います。現在の再生ピッチはパラメーター表示部に表示されます。



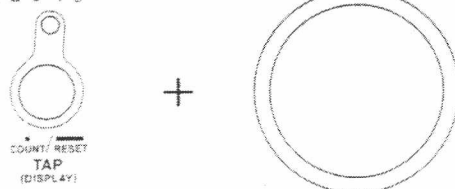
BPMおよびTAPキー

本機は再生している曲のBPMを自動計測します。自動計測したBPM値はパラメーター表示部のモードをBPMに設定することによって表示することができます。



TAPキーを数回押すことにより、BPMを手動で計測することができます。手動計測されたBPMはパラメーター表示部に一時的に表示されます。またTAPキーの上のLEDがBPM値に連動して点滅します。このBPM値はピッチを変えると連動して自動的に変化します。

TAPキーを1.5秒間以上押し続けると、手動入力したBPM値を消去します。また、TAPキーを押しながら1.5秒以内にジョグダイヤルを回すとBPM値を微調整することができます。



自動計測したBPM値やTAPキーで計測したBPM値は、エフェクターのビートパラメーター用として使用することができます（P.15）。TAPキーでBPMを計測し

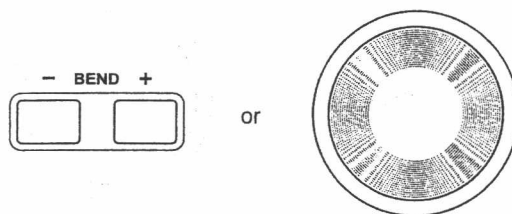
ている場合はTAP BPM値が、TAP BPM値が無い（消去した）場合は自動計測したBPM値がエフェクトビートパラメーター用として使用されます。

2-6. ピッチベンド

再生中にBEND +/-キーやジョグダイヤルを回すことにより、再生スピードを一時的に早くしたり遅くしたりすることができます。

BEND +キーを押すかジョグダイヤルを時計回りに回すと再生スピードが早くなり、キーを離すまたはジョグダイヤルを止めると元の再生スピードに戻ります。

BEND -キーを押すかジョグダイヤルを反時計回りに回すと再生スピードが遅くなり、キーを離すまたはジョグダイヤルを止めると元の再生スピードに戻ります。



ご注意

- スクラッチ機能、またはエフェクトがオンのとき、ジョグダイヤルはピッチベンド機能に使うことはできません。
- 最大ピッチベンド幅は±10%です。
- マスターテンポ機能がオンのとき、ピッチベンド時もキーは変わりません。

2-7. マスターテンポ

MASTER TEMPOキーを押すことにより、テンポを変えてもキーが変わらないマスターテンポ機能をオン/オフすることができます。マスターテンポ機能がオンのとき、LCD内のM.TEMPOインジケータが点灯します。

マスターテンポ機能がオンのとき、パラメーター表示部のキー表示（KEYインジケータ点灯時）は — — — になります。



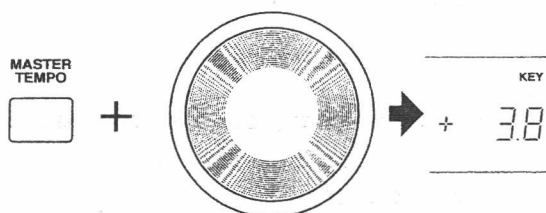
M. TEMPO

3. 応用操作

3-1. キーコントロール

本機は±6および±10%のキーコントロール機能を搭載しています。キーコントロールレンジはテンポレンジに連動します。ただし0%時および±100%の時、キーコントロール機能は働きません。

MASTER TEMPOキーを押しながらジョグダイヤルを回すとキーを設定することができます。また、操作中にジョグダイヤルを押すと0%に戻ります。



ご注意

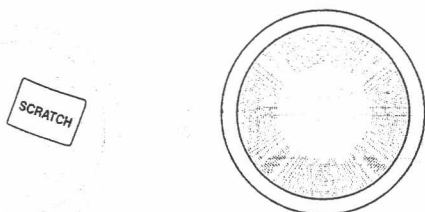
- マスターテンポ機能がオンのときは、キーコントロール機能は働きません。
- キー値は実際のキーの変化量を表示するため、キーコントロール値とテンポ値の合計になります。

3-2. スクラッチ

SCRATCHキーでジョグダイヤルによるスクラッチ機能のオン/オフを行うことができます。

ご注意

- 再生開始直後（CUE-PLAY、トラックスキップ、ループ再生を含む）3秒間はリバース方向のスクラッチ再生はできません。
- MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大7秒まで可能です。
- マニュアルフィルターエフェクトがオンのとき（P.14）はジョグダイヤルでのスクラッチはできません。



3-3. ブレーキ

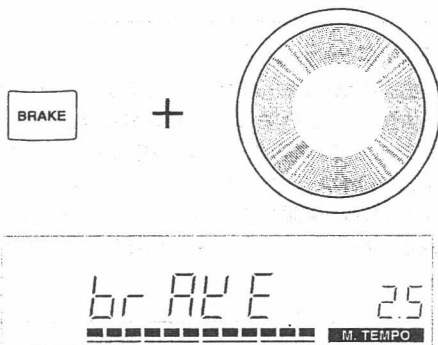
BRAKEキーを押すと、ブレーキ機能をオン/オフすることができます。ブレーキ機能をオンにすると、再生から一時停止状態にするときに、アナログターンテーブルのように、徐々にピッチを下げながら再生を止めることができます。

ブレーキ機能がオンのとき、BRAKEキーが点灯します。



ブレーキタイムの設定

BRAKEキーを押しながらジョグダイヤルを回すとブレーキタイムを設定することができます。ブレーキタイムは1秒から5秒まで、0.1秒単位で設定することができます。ブレーキタイムの初期設定値は、0.3秒です。



3-4. エフェクト

本機にはフランジャー、フィルター、およびディレイエフェクトが搭載されています。

各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトをオン/オフすることができます。

EFFECT SYNCキーを押すと、エフェクトタイムをBPMに合わせることができます。

せることができます。

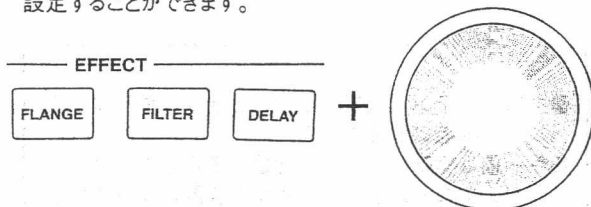
SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルを調整することができます。

エフェクトタイムの設定

エフェクトをオンにすると、ジョグダイヤルでエフェクトタイムを設定することができます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイヤルでエフェクトタイムの設定はできません。



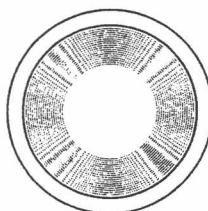
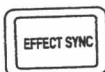
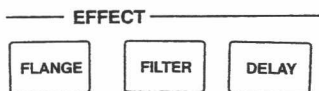
このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトタイムが表示されます。

エフェクトタイムをBPMに合わせる

エフェクトをオンにし、さらにEFFECT SYNCキーもオンにすると、エフェクトタイムを現在のBPM値（TAP BPMまたは自動計測したBPM）に合わせることができます。ジョグダイヤルを使ってビートを設定することができます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイヤルでエフェクトビートの設定はできません。

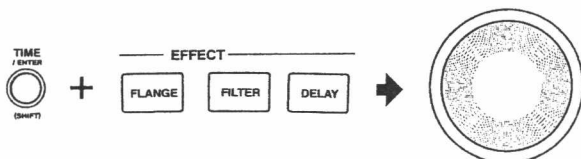


このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトビートが表示されます。

エフェクトレベルの設定

SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルをジョグダイヤルで設定することができます。

このときパラメーターディスプレイにエフェクトレベルが表示されます。



フランジャー

FLANGEキーを押すとフランジャーエフェクトをオン/オフすることができます。

エフェクトタイム：10msec - 16sec (デフォルト:500msec)

エフェクトビート：32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2 (デフォルト:1)

エフェクトレベル：0 - 100 (デフォルト:50)

フィルター

FILTERキーを押すとフィルターエフェクトをオン/オフすることができます。

エフェクトタイム：10msec - 16sec (デフォルト:2sec)

エフェクトビート：32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2 (デフォルト:4)

エフェクトレベル：0 - 100 (デフォルト:50)

フィルターエフェクトにはオートフィルターとマニュアルフィルターの2種類があります。

オートフィルター設定時は、フィルターの周波数が設定したエフェクトタイムまたはエフェクトビートで自動的に変化します。

マニュアルフィルター設定時は、ジョグダイヤルでフィルター周波数を手動で変化させることができます。

FILTERキーを1.5秒以上押すと、オートフィルターとマニュアルフィルターの切り替えることができます。

ご注意

マニュアルフィルター設定時は、フィルターエフェクトをオンにするとスクラッチ機能がオンのときでも、ジョグダイヤルでフィルター周波数を変化させることができます。

ディレイ

DELAYキーを押すとディレイエフェクトをオン/オフすることができます。

エフェクトタイム：1msec - 3,500msec (デフォルト:500msec)

エフェクトビート：32, 1, 3/4, 1/2, 1/4 (デフォルト:1)

エフェクトレベル：0 - 100 (デフォルト:50)

3-5. リバース再生

REVERSEキーを押すと、リバース再生のオン/オフを行うことができます。リバース再生モード時はREVERSEキーが点灯します。



ご注意

- 一時停止後3秒間、リバース再生はできません。
- リバース再生時はCUE-PLAY、ループポイントの作成、およびオートキュー機能は働きません。
- ループのリバース再生は出来ません。リバース再生中にRELOOPキーを押すと、リバースが解除され、通常ループ再生になります。

3-6. サンプラー

本機には8秒のサンプラーが搭載されています。

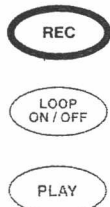
サンプリング

ご注意

- サンプリングを行う場合はサンプラーが停止していることを確認してください。
- サンプリングデータの消去はできません。サンプラーは常に上書きが可能です。

1. 再生中または一時停止中にRECキーを1回押します。このときRECキーが点滅しRECスタンバイ状態になります。

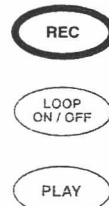
SAMPLER



2. 再生中または一時停止中に再度RECキーを押すと録音が開始しRECキーが点灯します。

3. 再生中または一時停止中に再度RECキーを押すとサンプリングを終了し点滅を3回行いRECキーが消灯します。

SAMPLER

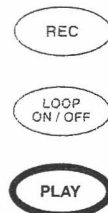


RECキーを押してから、最大録音時間の8秒を経過すると、自動的にサンプリングを停止します。

サンプラーの再生

サンプリング終了後、PLAYキーを押している間、サンプラー再生します。PLAYキーを離すとサンプラーは停止します。

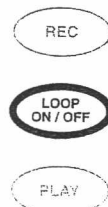
SAMPLER



サンプラーのループ再生

LOOPキーを押すとサンプラーループ再生をオン/オフします。サンプラーループ再生がオンのときは、LOOPキーとPLAYキーが点灯します。

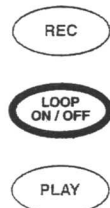
SAMPLER



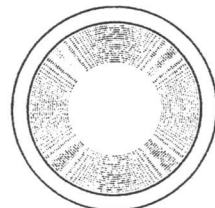
サンプラーのピッチコントロール

LOOPキーを押しながら、ジョグダイヤルを回すことにより、サンプラーのピッチコントロールを行うことができます。ピッチコントロールレンジは±32%で、0.1%単位で可変可能です。

SAMPLER



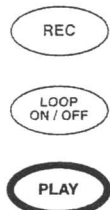
+



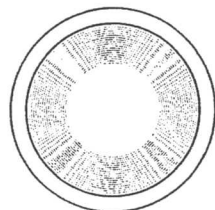
サンプラーの再生レベルの設定

PLAYキーを押しながらジョグダイヤルを回すことにより、サンプラーの再生レベルを調整することができます。再生レベルの可変範囲は0（無音）から100（通常再生レベル）です。

SAMPLER



+



3-7. トラックメモリー/リコール

本機はトラックごとに再生設定をメモリーすることができます。最大100曲のトラックメモリーが可能です。

メモリー

1. SHIFTキーを押しながらTRK MEMOキーを押してメモリーモードにします。



+



2. LCD内のパラメーター表示部に空のメモリー番号が表示されます。



3. 必要に応じてジョグダイヤルでメモリー番号を選択します。

4. ENTERキーを押します。このとき、選択されたメモリー番号に既にデータがある場合、LCD内に「-SURE-」と表示します。続けてENTERキーを押すと現在のトラックの情報を上書きします。他のキーを押すとメモリーをキャンセルします。



トラックメモリー可能な情報

- | | |
|-----------------|----------------|
| ● DISC ID | ● キューポイント |
| ● CUE 1-3ポイント | ● LOOP A/Bポイント |
| ● LOOPモード | ● 再生モード |
| ● TAP値 | ● タイムモード |
| ● ブレーキ オン/オフ | ● ブレーキタイム |
| ● マスターテンポ オン/オフ | |

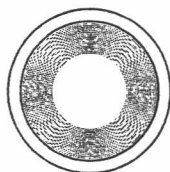
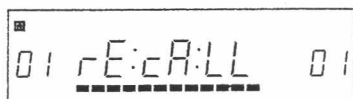
リコール

1. SHIFTキーを押しながらTRK RECALLキーを押してリコールモードにします。現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、そのメモリー番号がLCD内のパラメーター表示部に表示されますのでジョグダイヤルでトラックメモリー番号を選択します。



+





2. ENTERキーを押すと、トラックメモリーデータにメモリーされているトラックとそのトラックメモリーデータ呼び出します。



ご注意

この機能を使うことにより、キューポイントやループポイントのメモリー/リコールも可能です。ただし、リコールした直後はフラッシュスタートやシームレスにループ再生に移行することはできません。一旦キューポイントから再生やループ再生を行うと、次回からはフラッシュスタートやシームレスにループ再生に移行することができます。

3-8. フェーダースタート

フェーダースタートに対応した外部ミキサーから本機をフェーダースタート/バックキューさせることができます。リアパネルのFADER START端子と外部ミキサーを付属のフェーダースタートケーブルで接続してく

ださい。このとき、オーディオ信号もフェーダースタートを行うミキサーに接続してください。

TIP: スタート (50ms以上のローパルス)

GND: バックキュー (50ms以上のローパルス)

3-9. TT-M1 (TASCAM) での再生

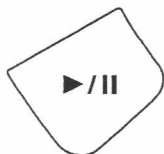
本機はアナログターンテーブルにセットされたTT-M1 (TASCAM) と接続することにより、ジョグダイヤルの代わりに、アナログターンテーブルで操作することが可能です。

ご注意

TT-M1を使用する際は必ず本機のスクラッチ機能をオフにしてください。正常に動作しないことがあります。

セッティング

1. TT-M1の接続ケーブルを本機のTT-LINK端子に接続し、TT-M1の電源を入れます。
2. SHIFTキーを押しながらPLAYキーを押して、本機との調整を行ないます



ご注意

TT-M1を使用する際は必ず調整を行ってから、ご使用ください。調整を行わずに使用すると正常に働かない恐れがあります。詳しくは、TASCAM TT-M1 の取扱説明書をよくお読みください。

3-10. プログラム再生

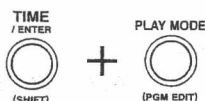
本機は最大30曲のプログラム再生機能を搭載しています。
プログラムは電源をオフにしてもメモリーされます。
ただしCDを取り出すとプログラム内容は消去されます。

ご注意

プログラム再生中にCUE 1-3キーを押すとプログラム再生は解除されます。

プログラムの作成

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードにします。



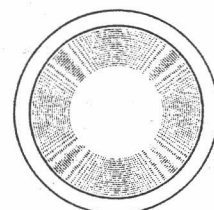
2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。
SKIPキーでトラックを選択します。



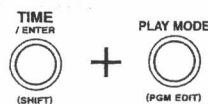
3. ENTERキーまたはジョグダイヤルを右に回して次のプログラム番号を表示します。



or

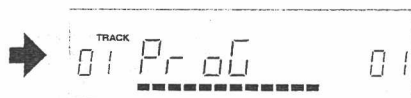
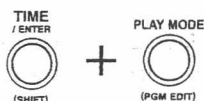


4. 2～3をくり返します。
5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードを終了します。



プログラムの変更

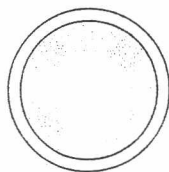
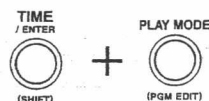
1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードにします。



3. SKIPキーでトラックを変更します。

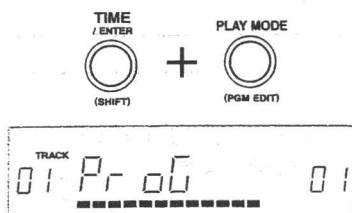


4. 2～3をくり返します。
5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードを終了します。

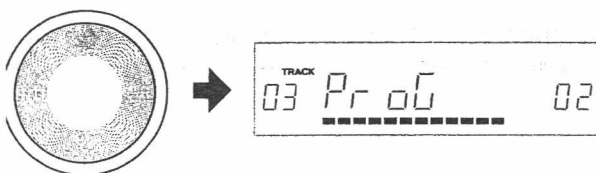


プログラムの追加

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードにします。



2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。プログラムを追加したい位置のプログラム番号をジョグダイヤルで選択します。



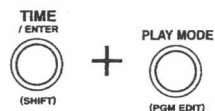
3. CUE-SET/INSキーを押します。



4. SKIPキーでトラックを選択します。

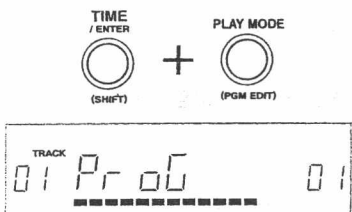


5. 2~4をくり返します。
6. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードを終了します。

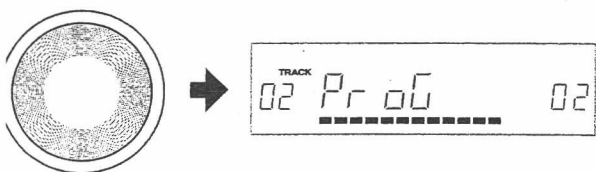


プログラムの削除

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードにします。



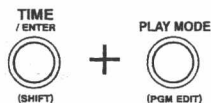
2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。削除したいプログラム番号をジョグダイヤルで選択します。



3. CUE-PLAY/DELキーを押します。



4. 2~3をくり返します。
5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押してプログラムエディットモードを終了します。



3-11. MP3ファイルの再生

本機は以下のフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。

ディスクフォーマット : ISO9660 Level 1

ディレクトリ数 : 最大254ディレクトリ

ファイル数 : 最大254ファイル

ファイルフォーマット : MPEG 1 Audio Layer 3

ビットレート : 32kbps~192kbps,

固定ビットレート

サンプリング周波数 : 44.1KHz, ステレオ

ファイル拡張子 : mp3, Mp3, mP3, MP3

最大階層数 : 8

ご注意

- MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大7秒まで可能です。

ご注意

- マルチセッションで記録されたディスクの場合、最初のセッションに記録されたファイルのみを再生します。
- 可変ビットレート (VBR) のファイルの再生はできません。
- MP3再生においては以下の機能はサポートしていません。

- CUEおよびCUE 1-3機能
- CUE-PLAY
- ループ再生
- サーチ
- リバース再生
- ミトラックメモリー
- トータルリメインタイム表示
- リメインタイム
- タイムアドレスバー表示

MP3ファイルの再生

1. MP3ファイルが記録されたディスクを挿入します。
2. SKIPキーでファイルを選択します。
3. PLAY/PAUSEキーを押します。

SHIFTキーを押しながらSKIPキーを押すと、ディレクトリ単位でスキップすることができます。

(MP3の再生については 13-1、MP3データのフォルダ移動について→P.32)を参照してください。

ご注意

- 本機はテキスト表示には対応していません。ファイル番号をトラック表示部に、ディレクトリ番号をパラメーターディスプレイに、それぞれアルファベット順に表示します。

4.レコーダーの基本操作

4-1 録音時の制限事項

- ・CD の規格により1 枚のディスクには99 トラック(曲)までしか録音できません。また、4 秒以下の曲は録音できません。
- ・録音を始めてから4 秒以内にPLAY/PAUSE キーを押した場合は、4 秒経ってから録音待機状態となり、その間は無音録音状態のトラック番号ができます。

ご注意

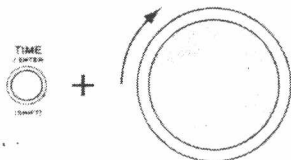
本機ではAUTO CUE機能により無音録音されたトラックは選択できません。

- ・録音の途中で99 曲まで達した場合は、“Disc Full!”と“PMA Writing”を表示した後、停止します。
- ・録音の途中でディスクの録音可能時間を使い果たした場合は、“Disc Full!”と“PMA Writing”を表示して停止します。
- ・途中まで録音してあるディスク(ファイナライズ処理されていないもの)を入れた場合は、追記録音することができます。
- ・ファイナライズ済みのCD-RW にさらに録音したいときは、一度アンファイナライズをします。

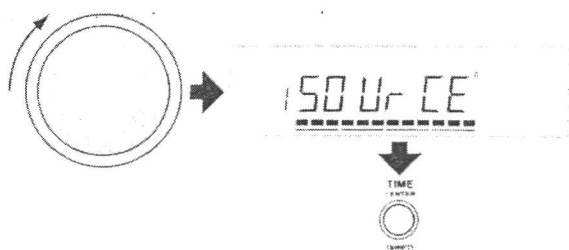
4-2. 録音ソースの選択

録音ソースがアナログ信号かデジタル信号かにより以下の手順で入力ソースの選択をします。

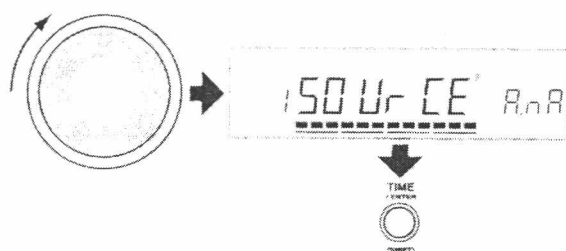
- 1) SHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させる。



- 2) ジョグダイヤルでプリセットメニュー番号04のSOURCE SELECTを選択しENTER キーを押します。



- 3) ジョグダイヤルでパラメーター (Digital Input, Analog Input) を選択しENTER キーを押します。



ご注意

Digital Input に適合した信号が入力されていない場合に Digital Input を選択すると、LCD 上にUNLOCK と表示され、Analog Input に切り替わります。

4-3. 入力信号のモニター

録音を開始する前に入力信号レベルやソースの確認のため入力信号のモニターを行います。以下の状態の時に、LINE OUTPUTS、DIGITAL OUTPUTS、HEAD PHONE から入力信号のモニターが出力されます。

- 1) ディスクが挿入されていない時、または録音不可のディスクが挿入されている時 REC STANDBY キーを押すと、ディ

スプレイに“Monitor”と表示され、入力信号のモニターが有効になります。入力信号のモニターを解除するには、もう一度CD REC キーを押します。

- 2) 録音中、録音待機中は、常にLINE OUTPUTS、DIGITAL OUTPUTS、HEAD PHONE から入力信号のモニターが出力されます。

4-4. アナログ入力信号レベルの調節

アナログ入力を選択した場合、LINE/PHONO INPUT とMIC INST INPUT の2系統の信号がアナログ加算されて、ミックスした信号が録音ソースとなります。

- 1) 入力信号のミックスレベルの調整はリアパネルのLINE LEVEL とトップパネルのINPUT LEVEL を調整して2系統のバランスを取り、INPUT インジケータの赤が、時々点灯する程度 (-3dBFS) のレベルに設定します。



2) CD-R/CD-RWへのデジタル録音レベルはアナログ機器のレベル表示と異なり、最大録音レベルから逆にマイナス何デシベル下がったレベルを基準（一般的に-12dBFSまたは-16dBFS）にするかという方法を取っています。良質な録音をするために絶対にデジタル最大録音レベル（0dBFS）

を超えないように入力レベルは赤LED表示が、時々点灯する程度（-3dBFS）のレベル以下で設定してください。

3) デジタル入力ソースを選択した場合は、入力レベルは固定となっていますので設定の必要ありません。

4-5. 録音操作

録音捜査に入る前に、入力端子に任意の録音ソースを接続し、アナログ入力の場合は入力レベルの設定、任意のトラック番号の更新方法の設定、コピーモードの設定などをしておきます。通常は以下の手順でCD-RまたはCD-RWを使用して録音を行ないます。

- 1) 録音用の新しいCD-RまたはCD-RWを挿入します。
⇒CD REC キー消灯、PAUSEキー消灯、PLAY/PAUSEキー消灯、LCDにbLanKと表示します。

ご注意

途中まで録音済みのディスクを挿入した場合は
⇒CUEキーとPLAY/PAUSEキーが点滅し記録内容を読み取ったらLCDにトラック番号、時間、フレーム、など表示します。

- 2) 一時停止の状態からREC STANDBYキーを押して録音ポーズ状態にします。

⇒REC STANDBYキー点滅、PAUSEキー点滅、PLAY/PAUSE キー点滅、LCDにトラック番号01、時間、フレーム、PAUと表示します。

- 3) PLAY/PAUSE キーを押して録音を開始します。

⇒REC STANDBYキー点灯、PAUSEキー点滅、PLAY/PAUSE キー点灯、LCDにトラック番号01、時間、フレーム、rECと表示します。

- 4) PLAY/PAUSE キーを再び押すと、録音ポーズ状態になります。

⇒REC STANDBYキー点滅、PAUSEキー点滅、PLAY/PAUSE キー点滅、LCDに約1秒間rEcordと表示してからトラック番号01、時間、フレーム、PAUと表示します。

- 5) 録音待機状態からREC STANDBYキーを押すと録音停止となります。

⇒REC STANDBYキー消灯、PAUSEキー点灯、PLAY/PAUSE キー点滅、LCDに約1秒間writeと表示してから最終トラック番号が点滅した状態で時間、フレームを表示します。

- 6) 再生して録音状態をチェックします。

- 7) 必要に応じてファイナライズ処理を行ないます。



4-6. フットペダルによる録音/録音ポーズの切り替え

録音ポーズ状態または録音状態からフットペダル（REC/PAUSE 端子に接続）による録音/録音ポーズの切り替えが可能です。

ご注意

録音開始後4秒以下の録音ポーズへの切り替えはできません。

5. 録音中のトラック番号の更新

録音中にCUE キーまたはフットペダル(TRACK 端子に接続)を使用してトラック番号の更新が可能です。

ご注意

4 秒以下のトラック更新はできません。

5-1. オートトラック録音とは

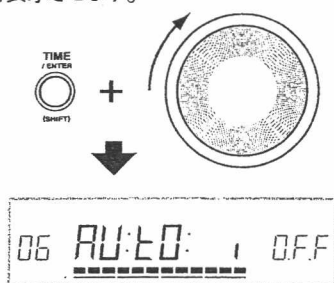
録音中に任意の時間間隔を指定してトラック番号を自動更新するオートインクリメント機能、または、入力信号のレベルによ

てトラック番号を自動更新するオートトラックレベル機能です。

5-2. オートインクリメント

録音中に任意の時間間隔を指定してトラック番号を自動的に更新する機能です。時間間隔は1 分～30 分。1 分単位で設定可能です。以下の手順で設定します。

- 1) SHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



- 2) ジョグダイヤルでメニュー番号06 のAUTO INCREMENT を選択しENTER キーを押します。



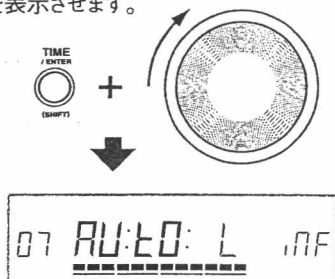
- 3) ジョグダイヤルでパラメーター（時間間隔）を選択しENTER キーを押します。



5-3. オートトラックレベル

録音中に指定したレベル以下の信号が一定時間経過するとトラック番号を自動的に更新する機能です。検出レベルは-∞、-72dB ～-24dB、6dB ステップで設定可能です。デジタルインプット時は-∞も設定可能です。また、検出時間は1 秒～7 秒。1 秒単位で設定可能です。以下の手順で設定します。

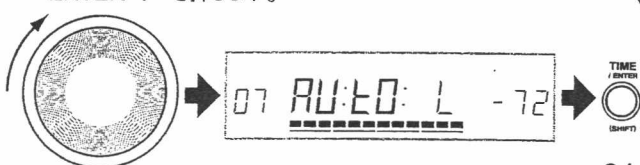
- 1) SHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



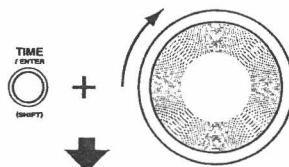
- 2) ジョグダイヤルでメニュー番号07のAUTO TRACK LEVEL を選択しENTER キーを押します。



- 3) ジョグダイヤルでパラメーター（検出レベル）を選択しENTER キーを押します。



- 4) SHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



- 5) ジョグダイヤルでメニュー番号08 のAUTO TRACK TIME を選択しENTER キーを押します。



- 6) ジョグダイヤルでパラメーター（検出時間）を選択しENTER キーを押します。



6. CD-R/CD-RW ディスクの各種操作

6-1. ファイナライズ について

TOC (曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータ情報=Table Of Contents) を CD-R/CD-RW メディアに記録する処理操作です。

本機で録音したディスクは、最終的なTOC をディスクに記録するまで、一般のCD プレーヤーでは再生できません。(ファイナライズ処理を行う前でも、本機で再生することは可能です)

ファイナライズ処理した CD-R/CD-RW メディアは、新たな追加録音はできません。

ただし、CD-RW の場合は、アンファイナライズと呼ばれる処理を行えば、再び録音可能な状態に戻せます。ファイナライズは以下の手順で操作します。

- 1) ディスクトレイに録音済みの CD-R/CD-RW メディアを挿入します。
- 2) 再生待機状態で、FINALIZE キーを押し、ファイナライズ待機状態にします。
- 3) ディスプレイに“SURE”と表示します。



- 4) 操作を取り消すには、FINALIZE キーを再度押すかENTER キー以外のキーを押します。

- 5) ファイナライズを実行するには、もう一度ENTER キーを押します。ファイナライズが始まり、ディスプレイに実行時間を表示します。



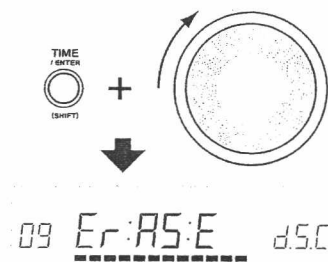
- 6) ファイナライズが終了すると、“Complete”と表示されます。

ご注意
ファイナライズ処理中は、操作キーを一切受け付けません。

6-2. アンファイナライズ

ファイナライズ済みの CD-RW メディアに追加録音したり消去できるようにする操作です。以下の手順で操作します。

- 1) ディスクトレイにファイナライズ済みの CD-RW メディアを挿入します。
- 2) 再生待機状態でSHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



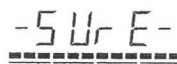
- 3) ジョグダイヤルでメニュー番号09のERASE を選択しENTER キーを押します。



- 4) ジョグダイヤルでパラメーターUNF を選択しENTER キーを押します。



- 5) ディスプレイに“SURE”と表示されます。



- 6) 操作を取り消すには、ENTER キー以外のキーを押します。
- 7) 操作を実行するには、もう一度ENTER キーを押します。



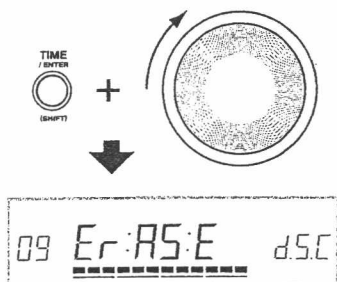
- 8) すると、ファイナライズが始まり、ディスプレイに実行時間を表示します。
アンファイナライズが終了すると、“Complete”と表示されます。



6-3. CD-RWディスクのリフレッシュ

停電などが原因でファイナライズの途中で強制終了したディスクや、コンピューターで使用したディスクは、本機で認識できないことがあります。このような場合は、以下の操作でディスクをリフレッシュすると、認識できるようになる場合があります。ディスクリフレッシュは、コンピューターのディスクフォーマットと同様の機能です。

- 1) ディスクトレイにリフレッシュしたいCD-RW メディアを挿入します。
- 2) 再生待機状態でSHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



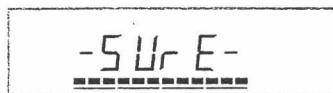
- 3) ジョグダイヤルでメニュー番号09 のERASE を選択しENTER キーを押します。



- 4) ジョグダイヤルでパラメーター REF を選択しENTER キーを押します。



- 5) ディスプレイに“SURE”と表示されます。



- 6) この操作を取り消すには、ENTER キー以外のキーを押します。
- 7) 操作を実行するには、もう一度ENTER キーを押します。



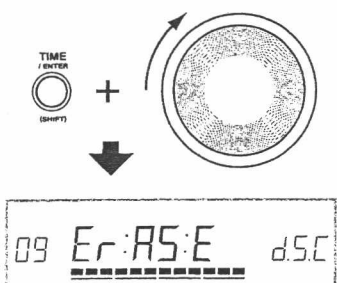
- 8) リフレッシュが始まり、ディスプレイに“Erase X:XX”と実行時間を表示します。リフレッシュが終了すると、“Complete”と表示します。



6-4. CD-RWディスクの消去

以下の手順でCD-RW に録音されたすべてのトラックを消去できます。

- 1) ディスクトレイにCD-RW メディアを挿入します。
- 2) 再生待機状態でSHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



- 3) ジョグダイヤルでメニュー番号09 のERASE を選択しENTER キーを押します。



- 4) ジョグダイヤルでパラメーター DSC を選択しENTER キーを押します。



- 5) ディスプレイに“SURE”と表示されます。



- 6) 操作を取り消すには、ENTER キー以外のキーを押します。
- 7) 操作を実行するには、もう一度ENTER キーを押します。



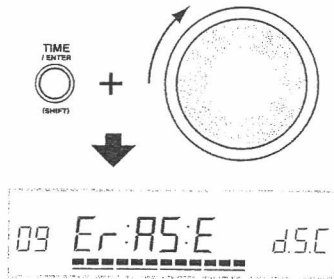
- 8) ディスクの消去が始まり、ディスプレイに“Erase X:XX”と実行時間を表示します。ディスクの消去が終了すると、“Complete”と表示します。



6-5. トラックの消去

以下の手順で録音されたCD-RW メディアから、指定したトラックから最後のトラックまでを消去できます。

- 1) ディスクトレイにCD-RW メディアを挿入します。
- 2) 再生待機状態でSHIFT キーを押しながらジョグダイヤルキーを回してプリセットメニューを表示させます。



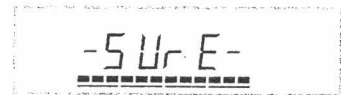
- 3) ジョグダイヤルでメニュー番号09 のERASE を選択しENTER キーを押します。



- 4) ジョグダイヤルでパラメーター 数値 (消去開始トラック) を選択しENTER キーを押します。



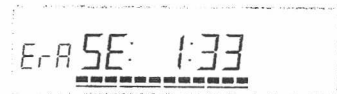
- 5) ディスプレイに“SURE”と表示されます。



- 6) 操作を取り消すには、ENTER キー以外のキーを押します。
- 7) 操作を実行するには、もう一度ENTER キーを押します。

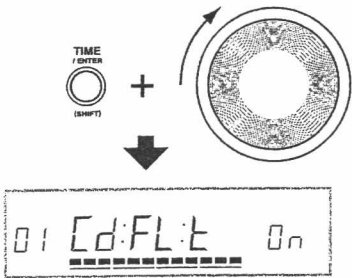


- 8) トラックの消去が始まり、ディスプレイに“Erase X:XX”と実行時間を表示します。トラックの消去が終了すると、“Complete”と表示します。



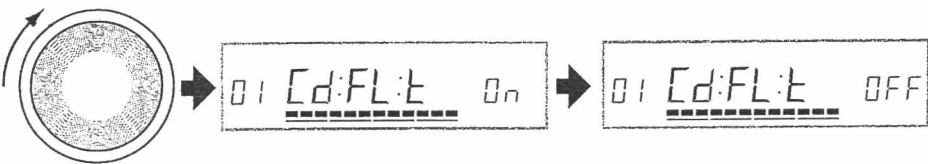
7. プリセットメニューの設定方法

1) SHIFTキーを押しながらジョグダイヤルを回すとプリセットメニューを呼び出し選択します。



2) プリセットメニューを選択後、ENTERキーを押します。各プリセットメニューの現在設定されているパラメーターがパラメーター表示部に表示されます。

3) ジョグダイヤルでパラメーターを選択します。



4) ENTERキーを押して設定を確定します。



5) 他のキーを押すとプリセットメニューを抜けます。

プリセットメニュー表

プリセット番号	内容	パラメーター	機能
01 Cd FL t	CDフィルター	OFF 0n	CDフィルターをON/OFFします。
02 t PL RY	タイマースタート	OFF 0n	タイマースタート機能をON/OFFします。
03 d l r E t	ダイレクトモード	OFF 0n	ダイレクトモードをON/OFFします。 ダイレクトモードがONの時、ディスク再生中でもディスクのイジェクトが可能になります。 また、ディスクを挿入すると自動的に再生を開始します。
04 S0 Ur EE	ソースセレクト	d i G R n R	録音入力ソースを選択します。
05 C0 PY	コピー禁止設定	Fr E onc no	作成したディスクのコピー禁止設定です。 コピー自由 (Free)、一回のみ可 (once) 禁止 (no) を選択します。
06 RU t0 i	オートインクリメント	OFF (1~30分、1分単位)	任意の時間間隔で自動的にトラックマークを設定
07 RU t0 L	オートトラック インクリメントレベル	i n F (−∞、−72dB ~24dB 6dB単位で設定可能)	入力信号が指定したレベル以下になった場合に自動的に トラックマークを設定
08 RU t0 t	オートトラック インクリメントタイム	(1秒~7秒、1秒単位で設定可能)	インクリメントレベルで設定したレベル以下の状態が、 続いた場合にトラックを更新する検出時間設定
09 Er RSE	イレース	d SC UNF r EF (トラックイレースは02から99を 任意で選択可能)	CD-RWを使用した場合、ディスク単位の消去、アンファイナライズ、 リフレッシュ、トラック単位の消去を選択
10 FR dEr	フェーダースタート	Cd SR n CB n	フェーダースタートモードを選択します。 Cd :CDをフェーダースタートします。 SR n :サンプラーをフェーダースタートします。 CB n :CDとサンプラーの両方をスタートします。
11 F Pr E	プリセットの初期化	-S Ur E-	プリセットメニューを初期化します。
12 RL LCLr	メモリーオールクリア	-S Ur E-	全てのメモリーデータを初期化します。

8. バックアップメモリー

電源をオフにしても、以下の設定をバッテリーバックアップします。

- ・タイムモード
- ・再生モード
- ・CUE-PLAYオン/オフ
- ・ブレーキオン/オフ
- ・ブレーキタイム
- ・マスターテンポオン/オフ

- ・ピッチレンジ
- ・プリセットメニュー設定
- ・キューモード
- ・プログラム
- ・エフェクトオン/オフ
- ・リバース再生オン/オフ

9. 定格および性能

形式：CD レコーダー

使用ディスク：CD-ROM, CD-R, CD-RW 12inch/8inch

チャンネル数 2チャンネル

量子化ビット数 16ビット

サンプリング周波数 44.1kHz

(再生時ピッチ可変時も44.1kHzで出力)

DAコンバータ 詳細別途

入出力仕様

LINE/PHONO INPUTS

コネクタ：RCA PIN JACK

入力インピーダンス：50k Ω

LINE LEVEL MAX 時

規定入力レベル：-10dBV (0.32V) [LINE] / -45dBV (5.6mV) [PHONO]

最大入力レベル：+6dBV (2.0V) [LINE] / -29dBV (35.5mV) [PHONO]

MIC/INST INPUT

コネクタ：1/4" TRS PHONE JACK

入力インピーダンス：バランス3.3k Ω [MIC] / アンバランス1M Ω [INST]

INPUT LEVEL MAX 時

規定入力レベル：-48dBm [MIC] / -48dBu [INST]

最大入力レベル：-32dBm [MIC] / -32dBu [INST]

INPUT LEVEL * [約9 時方向]

規定入力レベル：-8dBm [MIC] / -8dBu [INST]

最大入力レベル：+8dBm [MIC] / +8dBu [INST]

LINE OUTPUTS

コネクタ：RCA PIN JACK

出力インピーダンス：1k Ω 以下

規定出力レベル：-10dBV (0.32V) (負荷インピーダンス 10k Ω)

最大出力レベル：+6dBV (2.0V) (負荷インピーダンス 10k Ω)

MONITOR OUTPUTS

コネクタ：RCA PIN JACK

出力インピーダンス：1k Ω 以下

規定出力レベル：-10dBV (0.32V)

最大出力レベル：+6dBV (2.0V)

HEADPHONES OUTPUT

コネクタ：1/4" TRS PHONE JACK

最大出力レベル：100mW + 100mW (32 Ω 負荷)

DIGITAL INPUT

コネクタ：RCA PIN JACK

フォーマット：SPDIF(IEC60958)

入力インピーダンス：75 Ω $\pm$ 20%

規定入力レベル：0.5Vp-p $\pm$ 20%

DIGITAL OUTPUT / DIGITAL THRU OUTPUT

コネクタ：RCA PIN JACK

フォーマット：IEC60958 Consumer use

出力インピーダンス：75 Ω $\pm$ 20%

規定出力レベル：0.5Vp-p $\pm$ 20%

TRACKコネクタ：1/4" PHONE JACK

REC/PAUSEコネクタ：1/4" PHONE JACK

TT-LINKコネクタ：MINI DIN 6P

FADER STARTコネクタ：3.5 ϕ MINI JACK

LINE OUTPUT

周波数特性：20Hz~20kHz $\pm$ 0.5dB

SN 比：98dB 以上 [20kHzLPF, A-weight]

THD+N：0.008% 以下 [20kHzLPF], (1kHz 0dBFS)

ダイナミックレンジ：90dB 以上 [20kHzLPF, A-weight], (1kHz 260dBFS)

クロストーク：86dB 以上 [20kHzLPF], (1kHz 0dBFS)

録音再生

周波数特性：20Hz~20kHz +0.5dB, -1.0dB (INPUT LEVEL=-10dBV)

SN 比：92dB 以上 [20kHzLPF, A-weight]

THD+N：0.01% 以下 [20kHzLPF], (INPUT 1kHz +5.5dBV)

ダイナミックレンジ：88dB 以上 [20kHzLPF, A-weight], (INPUT 1kHz 254dBV)

クロストーク：80dB 以上 [20kHzLPF], (INPUT=10kHz+5.5dBV)

使用：水平設置

外形寸法：244 mm (W)、110 mm (H)、335 mm (D)

質量：3.3 kg

電源：AC アダプター-SDC-12使用

定格電圧 AC100V-240V 50/60Hz

消費電力 60-70VA

0. 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

	症 状	考えられる原因	処 置
全般	電源が入らない	アダプターのジャックが本体から抜けている	本体にジャックをきちんと差し込む
		電源スイッチがオンになっていない	電源スイッチをオンにする
再生	演奏を始めてもすぐに停止してしまう	ディスクが裏返しになっている	レーベル面を上にしてセットする
		ディスクが汚れている	柔らかい布で記録面を清掃する
	音が出ない	出力ケーブルが正しく接続されていない きちんと取り付けられていない	接続を確認する きちんと取り付ける
		本体側の接続端子、またはケーブルの端子が汚れている。	汚れを清掃し接続する
		未録音のディスクを再生している	録音済みのディスクかどうか確認する。
	再生音が歪む ノイズが出る	アンプ、ミキサーへの接続が誤っている	アンプ、ミキサーのライン (LINE) 端子、もしくは外部入力 (AUX) 等の適切な端子に接続する。(PHONO・MIC端子には接続しないでください。)
		ケーブル、ジャックの接触不良	接続ケーブルを交換する。ジャックを清掃する。
	特定のディスクでノイズが発生する。演奏が中断してしまう。	ディスクに大きな傷・そり・欠けがある	ディスクを交換する(破損したディスクを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。)
		ディスクが汚れている	ディスクの信号面を清掃する
		CD-RW/Rのディスク状態が悪い	ディスクを交換する
録音	録音したディスクが他の機器で再生できない。	ファイナライズが行われていない	ファイナライズを行う
	ディスクに録音ができない	ファイナライズ済みのディスクである	CD-RWならアンファイナライズする。 CD-Rなら新しいディスクと交換する。
	録音した音が小さい 録音した音が大きい、歪む	録音レベルの調整が適正でない	録音レベルを調整する
	ターンテーブルを接続するとブーンというノイズが発生する	アース線が接続されていない	アース線を接続する

11. エラーメッセージ

本機が正常に動作ができない場合は、LCD内にエラーコードを表示します。以下に示す表でエラー内容とその処置を行ってください。

エラー	エラー内容		処置
Err 01	TOC READ ERROR	TOC が20秒以上かかって読めなかった時	ディスクに傷がある →ディスクを交換 ディスクが汚れている →ディスクをクリーニング
Err 09	FLASH ROM ERROR	Flash Memory のチェックサムが不一致の時	電源再投入
Err 10	MEMORY ERROR	電源投入時 SDRAM をチェックして Error の時	電源再投入
Err 13	SYSTEM ERROR	CPU の回復不能 Error が起きた時	電源再投入
Err 22	ERASE ERROR	Erase 処理中に Drive から Error 報告があった時	電源再投入
Err 23	REC ERROR	録音中に Drive から Error 報告があった時	電源再投入

12. 保証・アフターサービスについて (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要場合はあらかじめお伝えください。

お買い上げの日

お買い上げ店名

13. 補足

13-1. MP3データのフォルダ移動について

1. 通常に再生した場合

下のようなフォルダ構造のMP3データの記録されたディスクを挿入した場合、通常に再生すると以下のような順番で再生されます。

2-g → 2-h → 2-i → 3-j → 3-k → 3-l → 4-m → 4-n → 4-o
→ 1-A-a → 1-A-b → 1-A-c → 1-B-d → 1-B-e → 1-B-f

(注: 下の図では1のフォルダ内にMP3のファイルがないためスキップされ、2内のMP3ファイルが再生されていきます)

まず1階層めのフォルダをアルファベット順に再生したのち、2階層目に降りて同様に再生していきます。階層ごとに再生し、最下層まで再生していきます。

基本的にファイル名、フォルダ名ともにアルファベット順で再生されていきます。

2. フォルダ単位のスキップ

SHIFT + SKIPキーでフォルダ単位の移動が可能です。

右のようなフォルダ構造では、SHIFT + SKIP (▶▶) を押すごとに以下のようにフォルダを移動します。

2 → 3 → 4 → 1-A → 1-B

のように移動します。

(注: 下の図では1のフォルダ内にMP3のファイルがないためスキップされます)

ディスプレイ上にはフォルダ番号として右図括弧内の01, 02, 03, ...のように表示されます。

またSHIFT + SKIP (◀◀) を押すと前のフォルダに移動します。

フォルダは最大8階層まで作成可能です。

